



# ROTARY CLUB OF OSAKA JONAN

## WEEKLY BULLETIN

創 立 1969. 5. 30 会 長 永 井 正 美  
幹 事 西 澤 吉 樹 会 報 委 員 長 村 上 武 史

RI 2660地区  
大阪城南ロータリークラブ

NO. 2152

2013-9-20

事務所 〒542-0012 大阪市中央区  
谷町9丁目1番22号NK谷町ビル407号  
TEL(06)6796-9898 FAX(06)6796-9899  
http://www.osaka-johnan-rc.org/  
E-mail:johnan25@crocus.ocn.ne.jp  
例会場 シェトン都ホテル大阪 上本町6-1-55  
TEL (06)6773-1111  
例会日 金曜日 12:30

ENGAGE ROTARY CHANGE LIVES

ロータリーを实践し みんなに豊かな人生を

2013-2014年度国際ロータリー会長 ロン D. パートン

### 本日の例会) 9月20日(第3例会)

- 卓話 「トルコについて」  
米山奨学生 オズカン・ミュゲ様

### 次週のお知らせ) 9月27日(第4例会)

- 大阪東南RCと合同例会(例会時間変更)  
17:00~
- 卓話 「人間にとって障害とは何か」  
京都大学 霊長類研究所  
教授 正高信男氏  
(渡邊邦雄会員紹介)
- 食膳 〈日本 特別料理〉

### 次々週のお知らせ) 10月4日(第1例会)

- 卓話 「医療者の職業奉仕」  
大阪府立成人病センター 総長 堀 正二氏  
(内藤喬皓職業奉仕委員長担当)

### 先週の記事) 9月13日(第2例会)

- 出席報告  
出席会員 42名(内免除会員9名)  
会員総数 55名(同上16名)  
ゲスト 0名  
ビジター 0名  
計 42名  
ホームクラブ出席率 87.50%  
8月30日(第5例会)補正出席率98.15%(MU1名)

### ◆会長の時間◆

先週末8日、アルゼンチン・ブエノスアイレスで開かれた国際オリンピック委員会(IOC)総会で、東京に56年ぶり二度目の聖火が灯ることが決定しました。

いろんな意味で日本の政治・経済・教育と何れの分野でも活性化し、成長させる決定ではないでしょうか? 一説に五輪開催までの7年間で150兆円もの経済効果が期待されるとのこと。期待したいものです。

さて、先週土曜日、今期第一回八輪会に出席してまいりました。各クラブの事業報告の中で今年3月誕生

した「大阪みおつくしロータリークラブ」会長・中島武さんの報告を大変興味深く聞かせて頂きました。中島さん曰く「我がクラブは新しいクラブなので間違っても安易な旧クラブとの合同など有り得ないし、会員増強も積極的にはしない。現にこの半年近く10名近い入会申し込みを断りました。退会防止も致しません」との事。因に現在会員数は34名で、50名にはしたいとのことでした。

### ◆幹事報告◆

- 片山会員より8月30日付けで出席規定適用免除申請が提出されておりました。持ち回り理事会で審議した結果、理事会はこれを承認しました。
- 2660地区83番目のクラブ、大阪みおつくしロータリークラブの加盟認証状の冊子が届いていますので回覧します。

### ◆委員会報告◆

- ①「ロータリーの友」9月号記事紹介  
雑誌・広報委員 鈴木良造
- 1. RI会長メッセージ(横組P.1)  
「ロータリーの新しいウェブサイト」  
自分に合わせて使う  
仲間とつながる  
外部の人々にロータリーを知らせる
- 2. 9月は「新世代のための月間」  
「未来の扉を開く」  
〔関連記事〕
- 横組(P.6~15)  
「新世代を見守る」  
ロータリアンは地域社会で、海外で若い人たちの活動を支援し、見守っています。  
各種活動を紹介しています。
- 横組(P.16~23)  
「ロータリーの新たな出発」(REGENERATION(再生))  
皆さんのクラブや地区で、次世代の若い職業人やボランティアが入会する余地をつくっていただけませんか。  
今日の若いリーダーを未来のロータリアンにするためにどのようなことが役に立つのか、ローターアクターや若いロータリアンに聞きました。
- 横組(P.24・25)

9月は新世代のための月間です!!

## 〈4つのテスト〉言行はこれに照らしてから

真実かどうか

みんなに公平か

好意と友情を深めるか

みんなのためになるかどうか

「RI会長に聞くQ&A」

RI会長の今年度の最優先事項の一つ

○横組(P.45)

「青少年と新世代」 ふたがみ 二神編集長

新世代奉仕について分かり易く説明されています。

・1996年2月 RI理事会

「青少年活動月間」→「新世代のための月間」に変更  
(30歳までの若い人)

・2010年 規定審議会

第5の奉仕部門「新世代奉仕」を新設

・2013年4月 規定審議会

「青少年奉仕」に名称変更

②「40周年事業 青根ヶ峰の視察」

社会奉仕委員長 岡部倫正

本日ポストさせていただいているご案内ですが、来る10月5日(土)に「40周年事業 青根ヶ峰の視察」を開催致します。

当日は8月2日に締結しました森林保全第一回目の整備後の状況を視察していただきます。

また、当日参加していただける会員の皆様は、ご案内にも記載させていただいているように足元のしっかりした靴・服装でのご参加をお願い致します。

集合場所は近鉄阿部野橋駅改札。時間は8時20分を予定しております。皆様のご参加お待ちしております。

また、吉野神宮駅で車に分乗して現地へ伺いますが、車両手配の都合上、参加のご回答は次回、第3例会までに意思表示の程、宜しくお願い致します。

③「大阪城南RC45周年記念実行委員会の立ち上げ」

大阪城南RC45周年記念実行委員会  
実行委員長 岡倉三郎(代理 南賀)

来年5月30日に開催予定の記念式典に向けて、大阪城南RC45周年記念実行委員会を、立ち上げました。会員全員の皆様のご協力を得て大会成功を目指します。委員会活動にご理解ご協力の程、宜しくお願い致します。

現代と古代の製鉄方法の違いは、鉄鉱石とコークス(石炭)を使う現代の「高炉」に対し「和鋼」は主として砂鉄を原料とし、木炭を火力とする「たたら吹き」でした。

生産量は1日数千tを生産する「高炉」に比べ「たたら」では3昼夜の作業でわずかに鉄が2.8t程度(内高品質の玉鋼は1t未満)、これに必要な砂鉄が13t、木炭13tとなり、木炭13tのために森林1ヘクタールが必要だったとされています。

司馬遼太郎氏の作品「街道をゆく」のなかで、古代の鉄を題材にした「砂鉄のみち」という一編があり、そのなかで、1.朝鮮半島から出雲周辺に製鉄技術が伝わった。2.その理由は、製鉄に必要な大量の木材が朝鮮では枯渇しかかった。また出雲周辺から採れる砂鉄の品質が本国に近い良質のものだった。3.量産された鉄によって農業の生産性が飛躍的に向上し、一人の農業者が多くの余剰な非農業者を養える社会の実現により商品経済の賑わいを支え、成熟した江戸の文化さらには明治の資本主義の基となったのではないかと述べています。

日本の気候も大きな役目を果たしました。木炭用に大量の木材を伐採しても、高温多湿な気候のお陰で森の復元力が強く、製鉄の発展を大いに助けたと考えられます。まさに、山が鉄をつくる。あるいは豊富な水が日本の鉄をつくってきたと言えます。

日本の歴史と文化を支えた「たたら吹き」ですが大正期には姿を消しました。生産性の悪さゆえ必然ではありますが、現在日本で一か所、その技術が継承され年に数回、実際に「たたら吹き」が行われています。場所は和鋼の聖地である出雲の山奥です。日本刀を造るにはどうしても「たたら吹き」による鋼が必要という刀匠達の願いを叶える為、昭和50年に復活しました。

この「たたら吹き」の見学は難しいですが、麓の安来市に和鋼博物館があり、そこで「たたら」について詳しく知ることができます。

何気なく目にする鉄・鋼製品ですが、少し想像力を発揮して、古の日本を思い浮かべて頂ければ幸いです。

## 卓話

9月13日 <第2例会>

「日本の鋼について」

三宅善太郎会員



本日はお時間を頂きまして、日本の鋼についてお話させて頂きます。

現在、品質と生産量で世界のトップクラスであります日本の鋼ですが、その製造技術は明治以降に西洋より輸入されたものです。

それ以前の鋼を日本古来の鋼として「和鋼」と呼びますが、これもまた朝鮮半島から伝わった技術で、時期は6世紀頃と言われています。

今回は「和鋼」とその製造法である「たたら吹き」についてご紹介いたします。

## にこにこ箱

9月13日(第2例会)

- ・実母の死去に伴い供花、弔電有難う御座いました。又、理事会・例会欠席申し訳ありませんでした。 西澤会員
- ・本日、卓話させて頂きます。宜しく申し上げます。 三宅会員
- ・2020年オリンピック、パラリンピック開催決定、万歳。日本の未来は明るい。 池宮会員
- ・欠席、早退お詫び 2件

(編集担当 片山・西)

会員増強にご協力を!!